

ハイネズ

Juniperus conferta Parl.
ヒノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

海岸の整備や開発、侵食などによって生育環境が消失し、生育地、個体数ともに減少している。ネズミサシに似るが幹は地を這い、毬果はやや大型である。

種の特徴

海岸の砂浜に生える常緑の低木。幹は地を這い、分枝して四方に広がる。葉は針形状で3輪生し、長さ10～18mm、先はかたくとがり触れると痛い。表面には気孔帯がある。花期は5月、雌雄異株。毬果は球形で径9～10mm、黒褐色で粉白をおびる。

分 布

北海道、本州、九州に分布する。県内ではあわら市、高浜町、おおい町、小浜市、敦賀市、福井市で確認されている。

生育を脅かす要因

海岸の整備・改修、侵食により、生育条件が悪化しつつある。庭園等に利用するための園芸採取がある。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○		○	○							○				○

オオヤマレンゲ

Magnolia sieboldii K.Koch subsp. *japonica* K.Ueda
モクレン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県は分布上北限付近にあり、生育地、個体数とも極めて少ない。

種の特徴

山地に生える高木または低木で、高さは5mくらいまで。幹はしばしば斜上し、屈曲する。葉は互生し、長さ6～18cm、幅5～12cm、表面は平滑で、ときにまばらに毛があり、裏面は白色を帯び、全面に白毛がある。5～7月頃、枝の先端に芳香のある花が付く。

分 布

本州（関東地方以西）～九州に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

生育を脅かす要因

産地が限られていることのほか、山野草マニアによる園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1989a）、福井県自然保護課編（2004）
福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

オオハンゲ

Pinellia tripartita (Blume) Schott
サトイモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

福井県が分布の北限で、生育地が極めて限定されており、個体数も少ない。

種の特徴

暖温帯の常緑広葉樹林下に生える多年生草本。地下茎は偏球形で、上部から根を出す。葉は1～4枚、長柄があり、無毛。葉身は3深裂し、基部は心形。花期は6～8月。花茎の中ほどに、緑色の仏炎苞をつける。仏炎苞の中に、雌雄異花の肉穂花序をつける。

分 布

本州（岐阜県・福井県以西）に分布する。県内では、主に福井市、嶺南地方で確認されている。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路の新設や拡幅工事等の山地開発による生育環境の悪化が生育を脅かす要因となる。また珍しい植物であるため園芸採取の対象となりやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、福井県植物研究会（2001）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○		○												○